

二神系譜研究会情報

NO. 1

2000. 3. 31

編集・発行 二神系譜研究会常任理事会

愛媛県北条市光洋台7-34

TEL&FAX 089-994-2542

二神系譜研究会へ発展的に移行 本格的な系譜研究へ着手

二神氏を名乗る者の長年の夢であった系譜研究について、「昨年来準備会を設立し、全国の二神さんに呼びかけをして参りましたが、当初の目的であった「全国の二神さんに呼びかけを終了しその回答がなされたとき…」を正式な会への移行の時期としてきました。

その判断に基づき、3月12日愛媛県北条市立ふるさと館での準備会の総会に続いて、正式な会への移行手続きがなされ「二神系譜研究会」として、皆様の期待に沿える本格的な研究調査が始まることになりました。

早春の野山に淡い菜の花が目立ち始めたこの日は風は少しありましたが良いお天気に恵まれ、会場の北条ふるさと館には、全国から参加された二神さんや来賓の方々50数名が続々と集まってきました。

午前10:00に豊田渉常任理事の司会で始まり、二神信助常任理事の開会挨拶につづき二神浩三会長が「この一年間活発な活動を進めて参りましたがそろそろ本格的な調査研究に取り組みたい…」と挨拶を述べました。

つづいて来賓の挨拶に入り竹田覚風早歴研副会長、橘川俊忠神奈川大学日本常民研所長、来島保存会からは大成経凡氏がそれぞれの立場から挨拶を行いました。又、豊田町からは磯部完治氏が挨拶しました。

準備会の一年間の経過報告と会計報告を二神英臣事務局長が行った後質疑が行われましたが、全体の取り組み経過についての承認がされました。



挨拶をする二神浩三会長

系譜研究会への移行提案を承認

二神系譜研究会が正式に発足

会長に二神浩三氏、つづいて二神興三郎常任理事から系譜研究会への移行の提案がなされこれを承認。会則案及び活動計画案が「会則検討委員会」から提案と報告がされました。その中で名称を「二神系譜研究会」とすることに決まりました。

役員選出では二神浩三氏(畑中二神氏)が準備会時代につづき会長に選出され、他の役員も一部の入れ替えとそれに伴う補充を行う形で推薦されました、なお、新しい役員の副会長はこの日に決まらず、

今後の推移を勘案しながら決めて行くことになりました。

記念講演「二神氏と来島氏」についてを学習

正式な会の発足を記念して顧問の福川先生による「二神氏と来島氏」のテーマで講演がされました。これは、来年9月に大分県玖珠郡森(豊後森)で予定されている「二神氏学習交流会イン豊後森」に向けての準備学習の意味合いもあって皆さん非常に熱心に耳を傾けておられました。(その内容は別紙編案)

記念講演の後、今後の系譜研究を進めて行く上で非常に重要となる系譜毎の連絡体制を取るための「系譜交流分科会」が開催され、今年の調査研究の重点となる、下からの系譜研究調査についてそれぞれの系譜毎の顔合わせと打ち合わせを行いました。

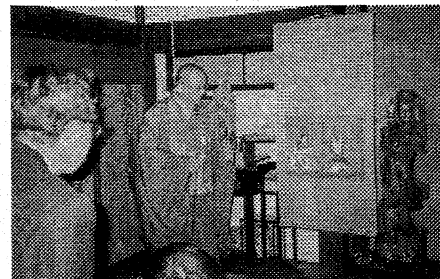
閉会の挨拶が行われ名実ともに「二神系譜研究会」として取り組みを進めて行くこと改めて確認されました。

会場風景



二神通範絵図、法善寺二神文書など見学

北条ふるさと館の三階にある展望室からは二神島が眺望できます、総会の後この場所で希望者によって昼食交流会が開かれました。



善応寺にて
二神通範の
絵図を見学